兵庫県立加古川医療センター

内科

指導担当医（役職）

廣畑　成也（副院長（診療担当・感染対策担当）兼　肝疾患センター長・消化器内科部長）

実習概要

概要

総合内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科のいずれかの主治医団の一部として４週間過ごします。処方は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生１人当たり患者さんを２人程度担当します。主治医団の回診やICに参加し、検査に同行し、治療計画を立案します。週1回の内科全体の新患カンファレンスや各科のカンファレンスでは口頭で受け持ち症例のプレゼンをします。

医療面接

平日の朝・夕に1回は上級医とともに担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行い、カルテ記載を行います。

内科初診外来で問診、身体診察を行い、カルテ記載を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。心音や肺音の聴診、腹部触診、神経学的所見のとり方などを指導します。

カルテ記載

毎日、カルテに記載を行います。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

週1回の内科全体の新患カンファレンスや各科のカンファレンスでは口頭で受け持ち症例のプレゼンをします。

その他（特色など）

昼間の内科系救急に上級医と一緒に対応します。緊急検査（心カテ、内視鏡、血管造影など）が必要な場合はそのまま参加・見学できます。

学生へのメッセージ

市中病院では、大学病院とは違ったcommon diseaseに近い疾患を多く経験できます。しっかりと内科の基礎を学んでください。